

2016
AUTUMN

No. 4

SHODAI

学園広報誌 商大

SHODAI



学校法人 高崎商科大学
since 1906

高崎商科大学大学院

高崎商科大学

高崎商科大学短期大学部

高崎商科大学附属高等学校

高崎商科大学佐藤幼稚園

〒370-1214

群馬県高崎市根小屋町741

TEL 027-347-3399

Contents

- 1 新校舎（4号館）建設に向けて
- 2 平成29年度に向けて「経営学科」「会計学科」を開設
- 3 創立者を訪ねて 理想の女子教育を求めて
- 4 附属高等学校長・副学長就任のあいさつ
高崎商科大学附属高等学校 校長 就任 高橋 洋一
高崎商科大学及び短期大学部 副学長 就任 築 雅之
- 5 高崎商科大学トピックス
企業連携「3.5本の矢プロジェクト」
- 6 高崎商科大学短期大学部トピックス
「アウトキャンパススタディー」加速中
- 7 高崎商科大学附属高等学校トピックス
2017年！普通科国際文化コースは「特進国際コース」として、
よりアクティブに！よりアグレッシブに！新しく生まれ変わります
- 8 高崎商科大学佐藤幼稚園トピックス
特別活動（英語・体操・ダンス・水泳）について
- 9 学園財務状況 平成27年度決算報告
- 11 学園情報
- 14 平成28年度カレンダー
- 15 Campus Information

高崎商科大学

新校舎（4号館）建設に向けて ～ 新たな教育環境の提供と共に、地域活動の拠点を用意 ～

学校法人高崎商科大学 総務課長

小瀬 幸雄 Yukio Ose

本学では、教育内容の充実を目指し平成29年度より「経営学科」「会計学科」を設置する予定です。そして、同時に教育環境の向上を目指し新校舎（4号館）の建設計画を進めております。現在、基本設計（建物の概要を決める作業）を終え、実施設計（実際の見積りや工事に使う図面を作成する作業）を終了するところです。建築確認申請を平成28年12月に予定しており、平成29年3月から建築工事を開始し、平成29年12月末日の完成を目指しています。

今回建設予定の4号館の建物は、現在の学生ホールの跡地を利用して、ガラス張り、コンクリート打ち放しの4階建の建物を計画しており、延床面積は2339.22㎡（708坪）となります。

また、4号館は大学の建物の中で最も高い建物となる予定です。建物の北側中央には1階から4階まで登れるガラス張りのエレベーターが設置され、外からエレベーターの動きを眺めることができます。

新校舎は各階とも最新設備を備えると共に、新たな教育環境の提供や地域活動の拠点を用意しています。1階の床面積は691.11平方メートルで、1階から4階までで最も広い床面積となっています。1階は談話室や学生食堂の機能を持たせることから、席数はこれまでの学生ホールよりも24席多い218席を確保する他、女子トイレにはパウダーコーナーを設置する等々、学生の「憩いの場」、

吹抜けの学生食堂イメージ図



西側からの4号館イメージ図

「学びの場」、「交流の場」をテーマに、多くの学生が有意義な学生生活を過ごせる場を用意したいと考えています。

また、CPC（コミュニケーション・パートナーシップセンター）事務室を1階に配置し、地域社会に対する窓口としての機能も持たせる予定です。

2階は東側が大きく吹き抜けになっており、1階の学生食堂から見上げると高く広い開放感のある中庭の景色を眺めることができます。2階西側には、54名収容できる小講義室が2部屋あり、1部屋の中講義室にすることもできます。また、南側に研究室が2部屋、北側に学園祭実行室、OC（オープンキャンパス）スタッフルームがあり、透明なガラス張りの各部屋に囲まれた中央に、ラーニングコモングのスペースを配置しました。ラーニングコモングには、ノートPCの無人貸出しシステムも併せて設置する予定です。

3階は、西側に45名収容可能なゼミ室が2部屋あり、合わせて1部屋にすることも可能です。また東側に144名収容可能な中講義室があり、分割して2部屋にすることも可能です。

4階は、フロアの中央に経理研究所を配置し、東側と西側に併せて98名収容可能な自習室が設けられており、一目で全体を見渡すことができます。公認会計士を目指す学生の自習室として、24時間利用可能な教育環境も検討されています。

大学に新学科設置

平成29年度に向けて「経営学科」「会計学科」を開設

高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部 事務局次長兼教学課長

森本 圭祐 Keisuke Morimoto

平成13（2001）年の大学開設以来、本学は1学科体制でした。開設当初は「流通情報学部 流通情報学科」、当時のことをよく覚えている方も多くいらっしゃるかと思います。平成18（2006）年には大学院を開設、そして平成22（2010）年には「流通情報学部 流通情報学科」から現在の「商学部 商学科」に名称変更となりました。

さて、今回の新学科設置ですが、発端は大学の「中期計画」立案過程における議論にありました。会議内で大いに議論されていたのは、「大学における学びをどのように充実させるか」というテーマです。これも、学生が社会に出るにあたり、胸を張って「自分はこれを学んで来たんだ」と言える教育体制を構築することが目的の議論でした。その中で、『「商学」という分野を更に絞り込むことで、学びを深化させることが出来るのではないか」という提案が出ました。この考え方を基として、社会のニーズを調査し、本学が現在持っている強み、本学を取り巻く環境等についてSWOT分析やバランス・スコアカードの手法を用いて検討を重ねた結果、「経営」と「会計」という2本の柱が浮かび上がって来たのです。

次に行ったのが、「自主・自立」という建学の精神と、「実学重視」「人間尊重」「未来創造」という教育理念より「本学の使命（ミッション）」を導き出す作業でした。これを行うことによって、改めて実学を提供し、自ら考えて行動を起こせる人材を育成することで、「応用力」を身に付けた人材を輩出することが本学にとって重要な使命であることが明確になりました。

この「本学の使命（ミッション）」を踏まえた上で、「経営学科」と「会計学科」のカリキュラムが組み立てられています。「経営学科」の特徴は「企業との連携による実学提供」です。既に課外として走り始めているの



が「3.5本の矢プロジェクト」です。このプロジェクトには電通、楽天、アドビの3社が協力しており、既に複数回のワークショップが行われ、多くの学生が参加しています。「会計学科」の特徴は「現役公認会計士による実学指導」です。本学では「Haul-Aプロジェクト」という、高大連携事業を既に5年ほど前から実施しており、その体制とノウハウが活かされた学科と言えるでしょう。両学科共にビジョン、ポリシー、カリキュラムを策定するにあたっては、「応用力」を身に付けるための実学を提供する、というスタンスが一貫して議論の中心にあります。

この2つの学科の学びを「地域」と「グローバル」というツールをもって、さらに効果を高めていく試みが現在進行しています。いよいよ来年度より高崎商科大学は新たな体制でスタートを切ることになります。今回の新学科設置は厳しい競争に勝ち残って行くための大きな改革であり、かつ“学びを絞る”ことによる教育の質向上と言えます。学問の分野が全く変わる訳ではなく、学びの方向性を明確化することによって進化する、つまり「ブレないから高く飛べる。」はここから生まれたフレーズなのです。

創立者を訪ねて

理想の女子教育を求めて

佐藤裁縫女学校を開校

日露戦争の直後で、女子教育振興の機運がようやく燃え上がってきた時代、夕子先生は自分の学校を設立しようと決意しました。

学校を設置する場所を東京都にしようか、静岡県にしようか等々決めかね、母校である東京裁縫女学校（現在の東京家政大学）を訪ねると、東京裁縫女学校創立者であり校長の渡辺辰五郎氏は、「佐藤君には群馬の東京裁縫女学校になってほしい」と言われたそうです。そして、明治39年、夕子先生31歳の時でした。高崎の柳川町のお堀端に、私立の裁縫学校「佐藤裁縫女学校」を創設しました。

佐藤夕子先生は、「自主・自立」の建学の精神を掲げ、良妻賢母としての女性の人格教育に重点をおきました。学則第一条に「婦徳の涵養(かんよう)」を明記し、毎週二時間修身の時間を設け、道徳教育に重点を置きました。教科目については、東京裁縫女学校のものを下敷きにしました。

開設当初は、生徒数が60名の小規模な私塾的な学校でしたが、昭和3年には在校生が655人、卒業生は4,160人となり、私立学校としては群馬県屈指の生徒数でした。夕子先生の裁縫教育は、女性のキャリアデザインとして、高崎で先駆的な役割を果たしたといえます。



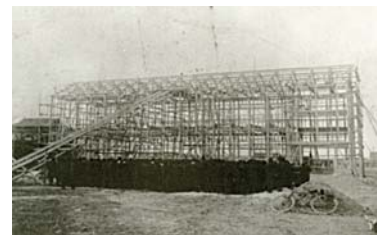
師範科授業風景（昭和7年）

高崎市大橋町に校舎を新築

日本が戦争体制の強化に突き進む中、甲種中学校の設置基準に見合う校地、校舎の坪数を急いで確保する必要に迫られ、夕子先生は奔走して、高崎市大橋町（現在の附属高校）に学校用地を確保しました。昭和18年4月に財団法人に組織変更。農地1095坪を借用し、183坪の校舎を新築。さらに

171坪余を柳川町より移築しました。学校名も「佐藤高等技芸女学校」と改称しました。

生活物資の不足も深刻な戦時下、夕子先生が夢に描いていた女子教育の理想が、高崎市大橋町の学園となって実現したのです。群馬について東京裁縫女学校を作ることができたのです。



昭和18年2月の上棟式（大橋町）

学徒動員や女子挺身隊（勤労奉仕団体）が強化されると、出発していく女学生を「どんなところでも誇りを忘れないでください」といって、夕子先生は見送りました。中島飛行機や榛名航空が就労先でしたが「さすが佐藤技芸の生徒だ」と、工場では彼女たちの働きぶりに感心したそうです。

体育館（体育館兼講堂）の設置とスポーツ（バレーボール）

戦争も終わった昭和23年、学制改革により高等学校に昇格し、校名は「佐藤技芸高等学校」に、さらに昭和25年には「高崎技芸高等学校」に改称しました。



昭和29年度全日本高校女子選手権に優勝した高崎技芸高校の選手達

新しい教育の一つとしてスポーツを取り入れ、バレーボールは群馬県大会で優勝を飾るまでになりました。高齢で体調を崩しながらも、「生徒が喜ぶような体育館をつくろう」と実行に移しました。

孫の井出温氏に校長職を譲り、夕子先生の最後の仕事となった体育館の建設は、バレーボール部を全国優勝に導くことになりました。

平成28年度 教職員数一覧（平成28年4月1日現在）

	法人本部	大学	短大	高校	幼稚園
本務教員		27名	10名	58名	10名
兼務教員		36名	20名	33名	5名
本務職員	4名	20名	8名	7名	
兼務職員		9名	3名	1名	3名

学校法人高崎商科大学 平成28年度 理事・評議員・監事

理事長・評議員	森本 純生	評議員	吉田広二郎
理事・評議員	森本 淳	評議員	蟻川 順子
理事・評議員	淵上勇次郎	評議員	金井可佐夫
理事・評議員	高橋 洋一	評議員	山端 耕之
理事・評議員	山田 富二	評議員	森本 圭祐
理事・評議員	中島 順子	評議員	鰐 淵 一夫
理事・評議員	中村登美子	評議員	竹上 健
監事	加藤 勝二	評議員	中村 雅典
監事	堤 宏		

附属高等学校長 就任のあいさつ

高崎商科大学附属高等学校
学校長就任（平成28年4月1日付）

高橋 洋一
Yoichi Takahashi



私は、創立110周年の記念すべき年に新しく校長に就任致しました。2006年に、創立100周年記念式典を行って以来、早10年が経過致しました。この間、部活動においては、2008年7月にインターハイで、本校アーチェリー部男子が団体優勝、また、2009年3月にフェンシング部女子が全国選抜大会で、団体優勝を果たすなど華々しい結果を残し、進学面でも2016年3月の卒業生は、国公立大合格者が過去最多の41名になるなど、これまでにない素晴らしい結果を残してくれました。

また『創立110周年記念事業』の一環として、四年前のテニスコートの移転工事から始まり、第六校舎と第一校舎の新築、第三校舎と第四校舎の耐震補強工事、エアコンの入れ替え、豊岡グラウンドの道路舗装や駐車場整備等、生徒、教職員がともに、安心して学習や部活動に取り組める快適な環境を整備し、落ち着いた校風の中で、品位と節度のある学校を目指し日々努めてまいりました。

本校は、創立以来『自主自立』を建学の理想とし、『親愛・礼節・整美』を校訓として、生徒は、学習や部活動、

学校行事等、様々な活動に積極的に取り組み、それぞれの夢や目標に向かって日々努力を続け、すでに卒業生は37,617名を数え、県内や全国で活躍しており、今後益々飛躍が期待されているところです。

さて、本校では時代の進運と共に、長年にわたり、『人間力』の向上、『知力』の向上、『国際力』の向上、そして『情報力』の向上の、4つの力の向上を大切にまいりました。そして、本校にはこれら4つの力の向上にむけて指導する、情熱あふれる教職員と、将来の夢や目標に向けて、学習や部活動に熱心に取り組み、自己実現を図ろうとするたくさんの生徒がおります。本校教職員は決意を新たに、これまで先人達が脈々と築いてこられた110年という長い歴史と伝統を糧にして、今後グローバル社会を迎えて、先行き不透明で厳しい社会情勢に直面しようとも、主体的に、自己を見失うことなく困難な課題を他の者と協働して乗り越えられるような商大附高生の育成に力を注いでまいります。そして新たな高みに向かって邁進してまいります。以上、校長就任にあたりご挨拶とさせていただきます。

高崎商科大学 高崎商科大学短期大学部
副学長 就任（平成28年4月1日付）

教授 築 雅 之
Masayuki Chiku



平成28年度に高崎商科大学ならびに高崎商科大学短期大学部の副学長職を拝命いたしました。学長のリーダーシップを下支えし、商学部、現代ビジネス学科、またコミュニティ・パートナーシップ・センターをはじめとする各部局において、それぞれの教育・研究・地域貢献活動が実り多いものになるように、ささやかではございますが、知恵と力と心を尽してゆく所存でございます。

大学開学翌年の平成14年に入職いたしました。情報関連の主に実習科目と教職課程の教科情報関連の科目を担当させていただき、また、メディアセンター、入試広報委員会、学生生活・学習支援センター、ネットビジネス研究所、学長室等にて校務に携わる機会をいただきました。諸先輩方や同僚諸氏、また事務局の皆様方にご指導やご力を賜わり、校務を進めることができました。あらためまして感謝申し上げます。

最初に授業を担当したときに、気立てが良く優しい学生が多いなあという印象を強く持ちました。14年たった今で

高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部 副学長 就任のあいさつ

もその印象は変わりません。最近ではそれに加え、様々に頼もしささえ感じるが増えてきました。挨拶の声が絶えないアットホームなキャンパスも新鮮でした。他大学でも本学でのいつもの調子で見知らぬ人に挨拶したときに、怪訝そうな顔をされて驚いたことがあります。当たり前を当たり前で継続してこられた学園に感服した次第です。

この4月より学外の方々、地域の方々とお話させていただく機会が増えました。卒業生の消息を嬉しく思い、大学・短大への期待に喜び、悩む。「ひと」に携わる教育研究機関で仕事をする事の意義を考えさせられる日々でした。

学校法人、また学長のビジョンの下、学園の良さを守り、発展させてゆく。学生を育て、特色ある研究を進め、地域に貢献してゆく。そのために、大学、短大の教職員の皆様方おひとりおひとりが、お力を発揮いただけるために必要なことを考え、実行してゆくの私のミッションなのかなと感じております。今後とも、ご指導、ご鞭撻賜わりますよう、お願い申し上げます。

大学トピックス

企業連携「3.5本の矢プロジェクト」

高崎商科大学・短期大学部 教学課課長補佐

鈴木 洋文 Hirohumi Suzuki

本学が世界でも指折りの革新的企業である“アドビシステムズ株式会社”“株式会社電通”“楽天株式会社”の3社と連携して進める「3.5本の矢プロジェクト」は、学生の発想力や創造力を育みたいという思いからスタートしました。



プロジェクトは、大学と企業側から講座などを一方的に提供するのみにとどまらないよう、3社それぞれの強みや特長、カラーが色濃く出る具体的なワークショップを中心に行われました。

まず、第1弾として、Webコンテンツやアプリケーションの作成、配信などを支援するソフトウェアを開発しているアドビシステムズ株式会社とプレゼンテーションに関するワークショップが行われた。ワークショップの前段階として、まずは本場のプレゼンテーションを体感してもらうため、6月3日(金)にプレゼンテーションの神と言われる、『プレゼンテーションZEN』の著者でもあるガー・レイノルズ氏による講演が行われました。



ガー・レイノルズ氏による講演

講演は、「抑制・シンプル・自然」のタイトルで行われ、自分の伝えたいポイントをしっかりと認識し、余計なものを省き、よりシンプルにしていくことを考えるように、といったアドバイスがありました。講演に参加し、興味を持った学生は、引き続き、同社から講師を招き実施されるワークショップに参加し、実際に自分たちでプレゼンテーションの組み立てやデザイン、発表までを体験することとなりました。ワークショップでは、大学の魅力をどう伝えるかということテーマとし、素材加工を進め、パワーポイントを作成しました。作成後は、ビジネスの最前線で常日頃プレゼンテーションを実践している同社の講師の面前で実際にプレゼンテーションを行い指導を受け、最終発表の場として、8月21日(日)のオープンキャンパスでのイベント

「ナマ声」で選出された3名のプレゼンテーションが披露されました。

第2弾は、株式会社電通とのワークショップです。これまでのような就職のための自己発見ではなく、豊かな人生につながるような新たな自己発見を実験的にやってみよう、とスタートしたワークショップは「世界初の自己発見」と名付けられ、参加者が公募されました。ワークショップは、9月2日(金)～3日(土)で実施され、同社からは、コピーライターやディレクター、プロデューサー、イベンターなど7名が講師として来学。参加した学生は23名で、自己紹介や他者理解に関するワークショップを実践しました。同社は、CMやイベントなどを取り扱う世界有数の企業でもあるため、ワークショップはかなりクリエイティブなものとなり、参加した学生からのアンケートでは、「想像もしない方法で新しい自分が発見できた。」「とても楽しかった。また、やりたい。」などのコメントが見られました。



電通ワークショップ参加者と講師

第3弾は楽天株式会社との地域活性ワークショップ「井戸端会議」です。ワークショップには、富岡市や安中市、上毛新聞社などからもゲストを招き、学生20名以上が参加しました。当日は、1部と2部に分けて開催され、1部では本学と楽天株式会社の地域活性活動についての報告がそれぞれの担当者より行われました。下地の理解ができた後は、地域、マスコミ・観光、EC(電子商取引/e-commerce)の3グループに分かれ、それぞれのグループがタイトル通り、自由にトークを繰り広げ、最終的に地域活性のアイデアを発表し合いました。

本学ではこれからの時代に対応できる人材を育成するため、柔軟な発想力を身に付けることを大前提に、各界でチャレンジし続ける企業との連携に力を入れており、今後もこういった試みを実践していく予定です。

短期大学部トピックス

「アウトキャンパススタディー」加速中

～ 主体性を引き出す新たな学びの場の提供 ～

高崎商科大学短期大学部 学科長

中村 雅典 Masanori Nakamura

教室の壁を超え、実社会の現場・現地で問題や課題を直接肌で感じさせ「深い学び」に導く「アウトキャンパススタディー」が昨年度よりさらに輪をかけて加速しております。教室内においても、学生用貸出パソコン・iPadを使い遠隔地と本学とをインターネットで結んだ双方向の教育により、物理的な距離にとらわれることなく新たな学びを実施しております。「学生一人ひとりの可能性を引き出し大きな成長を実感させ自立させる」学びの仕組みが加速中です。

今回の短大トピックスは4月に着任された村瀬孝准教授（高級ブランドホテルの最前線でご活躍され、その後財団法人でホテル産業の人材育成にご尽力されたホテル業界のプロ）の取り組みをご紹介します。

学生の本気度を高めるアウトキャンパススタディー

高崎商科大学短期大学部 准教授

村瀬 孝 Takashi Murase

本学教員による多彩な講座や学外活動の機会を提供する「学びの杜」の学外活動の一環としてホテル・ブライダル、観光業界を志望する学生（大学生・短大生）を対象にフィールドワーク（外資系ホテルの施設見学）を2度にわたって実施しました。

パークハイアット東京にて



まず、1回目が9/9（金）に東京新宿にある外資系ホテルパークハイアット東京を6名の学生とともに訪問しました。パークハイアット東京は、開業から20年を超え、外資系ラグジュアリーホテルとして老舗の域に入ったホテルですが、現在でも国内外から高い評価を維持し続ける希有なホテルです。続いて2回目のフィールドワーク実施場所として選択したのは、ホテルインターコンチネンタル東京ベイです。10/18（火）に8名の学生が参加しました。ホテルインターコンチネンタル東京ベイは世界100カ国にインター



ホテルインターコンチネンタル東京ベイにて

コンチネンタル、ホリディ・インなどのブランドで4700軒以上のホテルを展開しているホテルインターコンチネンタルホテルズグループのホテルのひとつです。

2回のフィールドワークを終えて、一流ホテルの現場の雰囲気を体感できたことは、ホテル・ブライダルなどのホスピタリティ業界を目指す学生にとって大きな刺激になりました。本学に戻ってから「ホテルビジネス実務論」、「接客サービス演習」などの専門科目や英語科目の授業への学ぶ姿勢の変化を私自身肌で感じております。憧れの外資系ホテルを施設見学で終わらせるのではなく、外資系ホテルへの強い就職意識を芽生えさせることができ、「学生の本気度」を上げることができたことが大きな収穫です。

また、10月下旬と11月下旬には、地元高崎のブライダル施設2軒（エテルナ高崎とヴィラ・デ・マリアージュ高崎）の施設見学を計画しています。教室内では現場の実際の仕事を想像することは難しいので、学生たちが目指しているブライダル業界の施設見学と、本学卒業生の先輩から話を聞くことで、将来をより具体的にイメージしてもらい、強い就職意識を芽生えさせ「学生の本気度」を高めていきます。

2年間という短い在学期間ではありますが、アクティブな学修ができるさまざまな仕掛けを作り「学生の本気度」を上げていく仕組みを取り入れていきたいと思っています。

平成28年度

高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部 後援会役員

会長	山田 富二	理事	松沢 斉
副会長	原 浩一郎	理事	馬場 弘隆
副会長	山崎 松恵	理事	宮嶋 正
副会長	山本 恵子	監事	山口かおる
理事	横田 英一	監事	山口 和美
理事	栗原 信幸		

附属高校トピックス

2017年！普通科国際文化コースは「特進国際コース」として、よりアクティブに！よりアグレッシブに！新しく生まれ変わります

普通科国際文化コース主任 2学年主任補佐

井出 聖和 Kiyokazu Ide

普通科・特進国際コースについて

特進国際コースのスペシャリスト・ゼネラリストとはどのような人材でしょうか？それは、「他者との違いを認識し、それを受容し、互いを尊重し合える心を備えた者」と考えます。①文化の違い、価値観や思考の違いを理解し、受容できる。②多面的・多角的な見方や思考が展開できる。③相手の国の良さを認めると共に、自国の良さを理解している。④自己の考えを明確に持ち、堂々とした姿勢で発表し、討論することができる。以上を目標に、例えば2年生の総合的学習の時間において、「日本は積極的に難民を受け入れるべきか否か。」といった国際的な諸問題をテーマにしたディベートの実施。身近な地域や日本の文化などを紹介したトピックアルバムを作成し、日本赤十字社を通じ、ネパールやモンゴル、バングラデシュなどの国々に送るなどの取り組みや、定期的に行うコース集会では、アイスブレイキングや「世界で最も裕福だと思われる国と最も貧しいと思われる国」について話し合わせるなど、学年を超えた繋がりを築く取り組みを実施してきました。そして、このような取り組みは、平成34年度から導入される新学習指導要領にも対応したものであると考えます。

急速に進むグローバル化社会で求められる人材。それは語学力以外にも、主体性やコミュニケーション能力を合わせ持つ、総合的にバランスのとれた能力を持つ人です。そのような人材の育成をめざし、よりアクティブに！よりアグレッシブに！取り組んでいきます。

国際化に対応した取り組みについて

本校では、国際化に対応した教育を推進するため、「ブリティッシュヒルズ」での国内英語研修（英会話合宿）、国際交流として7月～8月にかけてアメリカのシアトル近郊での3週間のホームステイ、海外への修学旅行等を行っています。また、本校独自の留学制度を利用した留学や、留学生の受け入れを積極的に進めています。

※本校では独自の留学制度を利用して、第2学年の2学期から10か月間、本校が斡旋する団体（WYS又はEIL）を通じて留学をした場合、留学での単位が認められ、第3学年に復学し卒業することができます。

平成28年度 父母の会本部役員(部活動後援会本部役員)

会長 松澤 龍治 (F3-10)	書記 海老沼久之 (S2-2)
副会長 笠原 美穂 (F3-12)	書記 登坂 駿 (学校職員)
副会長 桂川 淳 (F2-9)	会計 横尾 麻子 (F3-1)
副会長 生沼 英治 (F1-10)	会計 石綿 綾子 (F2-1)
書記 茂木 幸恵 (F3-3)	会計 岩井 則和 (学校職員)

○国内外研修



シンガポール・マレーシア 修学旅行



ブリティッシュヒルズ研修

○留学生の受け入れ

現在受け入れている留学生をご紹介します。オーストラリア出身のモニーク・バーレットさんです。現在、普通科国際文化コース1年10組に在籍しています。本校の留学期間は、2016年5月～2017年1月末までの予定です。



○留学している生徒

現在留学している生徒は下記の3名ですが、濱田さんと宮下さんから近況報告がありましたのでご紹介します。

- ・濱田 茜さん (国際文化コース2年11組)
ドイツ連邦共和国へ留学中 (2016年8月～10か月間)
- ・宮下ひなのさん (国際文化コース2年11組)
ニュージーランドへ留学中 (2016年8月～10か月間)
- ・井川 桜子さん (国際文化コース2年11組)
フランス共和国へ留学中 (2016年8月～10か月間)

濱田 茜
(国際文化コース2年11組)
ドイツ連邦共和国へ留学中

2週間の語学研修が終わり火曜日から学校が始まりました。毎日言葉のわからない授業に苦戦しています。ここにきて、母国語がすばらしいことに気づきました。日本語を話しても通じないし、独り言くらいでしかつかえなく、日常生活は私のつたない英語でどうにかしています。今になってノラ(本校に10か月間留学していた留学生)の気持ちがすごくわかります。学校の友達も割と簡単にできました。毎日その友達に英語で説明してもらってる状況です。



宮下 ひなの
(国際文化コース2年11組)
ニュージーランドへ留学中

こんばんは。連絡遅くなってしましますみません。21日にニュージーランドに着いて25日から学校に行っています。学校は日本とスタイルがかなり違うので大変ですが頑張っています。私は自分より1つ下のyear11に入っています。授業が全て選択ですと同じ教室にいる子がいないので友達作りも大変ですが、最近仲の良い友達も出来ました。みんな1つ下なのに男女問わず、私が分からないところがあると声をかけてくれます。自分でも近くになった子やすれ違った子などに笑顔で声をかけるようにしています。まだまだ大変なことばかりですが、頑張りたいと思います。先生もお体に気をつけてくださいね◎



佐藤幼稚園トピックス

特別活動（英語・体操・ダンス・水泳・茶道）について

高崎商科大学佐藤幼稚園 園長

中村 登美子 Tomiko Nakamura

本園で取り入れております、さまざまな特別活動を紹介いたします。

「英語であそぼう」

年少時からの外国人講師による歌やゲームで楽しく英語に触れる「英語であそぼう」の時間は、小学校への良いステップになっています。



「体操教室」

跳び箱の跳び方を学び、繰り返しチャレンジしたり、鉄棒も怖がらずに逆上がりができるように練習しています。



「キッズダンス」

知っている音楽を使っての「キッズダンス」は、子ども達も大好きな時間の一つです。ダンスを通して子どもの心と体を元気にしています。



「水泳教室」

夏のD.O.Sスポーツクラブでの水泳は、クラス担任も交代で補助にあたることから安心して泳いでいました。今年度の水泳教室は、年長・年中組は全10回、年少組は全8回ありました。インストラクターによる上手な指導のお蔭で水を怖がっていた子どももヘルパーを付ければ浮くこともできるようになり、自信が付き楽しく泳いでいました。



「茶道教室」

年長児対象の「茶道教室」は、心を落ち着かせ作法を身に付け四季折々の花やお菓子を楽しみにしながら“もてなしの文化”に触れさせています。敬老の日に因んで行っている“コスモスオープンデー”では、甘えん坊の子が幼稚園でしっかり頑張っている様子を伺って良かったと、来園なさった祖父母の方が大変感激をされていました。



これからも子ども達に負担なく充実した時間が過ごせるよう、心掛けて行きたいと思っています。

佐藤幼稚園まつり・バザー



11月3日、文化の日に毎年恒例の“佐藤幼稚園まつり・バザー”は、父母の会と幼稚園とが協力して開催されました。

在園児の保護者の方からの日用品をはじめ手作り品、父母の会のお母さん方が附属高校家庭科室をお借りしてクッキーなど焼き菓子を作ったの販売も行われました。また、今年も“豚汁”も用意され好評でした。

子ども達もヨーヨーすくいや、らくがきせんべいなどで、楽しんでいました。また、数年前の卒園児が、懐かしく思ってたくさん来園してくれました。私たち職員にとって、何より楽しい時間を過ごすことができました。

今年も晴天の中、「佐藤幼稚園まつり・バザー」は、多くの皆さまのご協力をいただき盛大に開催されました。



平成28年度佐藤幼稚園 父母の会本部役員

会 長 静 香	広報委員長 福田 泰子
副 会 長 輿石美樹	広報委員 吉澤 沙織
副会長・書記 塚越由紀子	教養委員長 小間 瞳
書 記 松尾真珠子	教養委員 大谷直美
会 計 砂山 恵里	会計監査 阿久澤麻美
会 計 清水初美	会計監査 吉田 史

平成27年度 財務状況

学校法人高崎商科大学 平成27年度決算報告

平成27年度決算につきましては、平成28年5月30日開催の理事会において承認され、同日開催の評議員会に報告されました。

現在、本法人の経営状態は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」に照らし合わせた場合、昨年度に引き続き過去14年間「Aランクの状態」（正常状態）に位置しており、財政基盤はきわめて安定していると言えます。今後ともこの健全な経営状態を維持するよう、より魅力ある学園とするため教育研究内容の充実や施設設備の整備に引き続き努力して参ります。

なお、学校法人会計基準の改正に伴い、平成27年度より財務関係書類が一部変更されています。また、財務関係書類については情報公開を行っており、学校法人高崎商科大学ホームページ及び各設置学校内の所定の場所で閲覧することができます。

①資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、その年度の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにする書類です。

平成27年度の資金収支状況について、収入は前年度繰越支払資金の2,257,036千円を加え、合計で5,006,857千円となり、寄附金収入、補助金収入及びその他の収入等で増加したものの、学生生徒等納付金収入、手数料収入、前受金収入、資金収入調整勘定等が減少したことで、予算に対しては76,007千円の減少となりました。

一方、支出については、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等で減少しましたが、翌年度繰越支払資金は予算に対し1,272千円減少し、2,116,341千円となり、昨年からは140,695千円の減少となりました。

資金収支計算書

(単位：円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,428,204,380	1,426,990,710	1,213,670	人件費支出	1,343,694,043	1,332,971,090	10,722,953
手数料収入	46,973,198	46,371,368	601,830	教育研究経費支出	536,786,655	526,970,437	9,816,218
寄付金収入	22,766,748	23,792,508	△1,025,760	管理経費支出	161,017,758	153,928,944	7,088,814
補助金収入	791,075,407	849,588,464	△58,513,057	借入金等利息支出	3,068,585	3,068,585	0
資産売却収入	400,000,000	400,000,000	0	借入金等返済支出	44,550,000	44,550,000	0
付随事業・収益事業収入	17,075,000	17,281,462	△206,462	施設関係支出	417,541,128	417,349,085	192,043
受取利息・配当金収入	21,948,119	21,635,388	312,731	設備関係支出	93,895,071	92,757,670	1,137,401
雑収入	63,987,000	63,882,930	104,070	資産運用支出	315,900,000	315,900,000	0
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	28,033,570	27,693,334	340,236
前受金収入	225,200,000	224,664,000	536,000	〔予備費〕	39,285,023		39,285,023
その他の収入	88,071,351	135,522,701	△47,451,350	資金支出調整勘定	△18,521,376	△24,673,692	6,152,316
資金収入調整勘定	△279,473,000	△459,909,072	180,436,072	翌年度繰越支払資金	2,117,614,687	2,116,341,947	1,272,740
前年度繰越支払資金	2,257,036,941	2,257,036,941		支出の部合計	5,082,865,144	5,006,857,400	76,007,744
収入の部合計	5,082,865,144	5,006,857,400	76,007,744				

②事業活動収支計算書の状況

事業活動収支計算書は、その年度の「教育活動」、「教育活動以外の経常的な活動」及び「前記二つ以外の活動」に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入額を控除したその年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入及び事業活動支出の均衡状態を明らかにし、学校法人の経営状況を把握するための書類です。これまでの「消費収支計算書」に変わる新たな計算書類となりました。

平成27年度の事業活動収入は予算に対して55,786千円増の2,450,481千円、事業活動支出は予算に対して45,703千円減の2,246,423千円で、基本金組入前当年度収支差額は204,058千円の収入超過となりました。施設・設備整備、育英基金等の基本金組入額合計は302,118千円となり、基本金組入後の当年度収支差額は98,060千円の支出超過となりました。

これにより、前年度繰越収支差額の951,921千円を加え、翌年度繰越収支差額は、853,860千円となりました。

また、単年度の収支状況の指標となる経常収支差額（＝経常収入（教育活動収入計＋教育活動外収入計）－経常支出（教育活動支出計＋教育活動外支出計））は、99,984千円の収入超過となり、経営判断指標となる経常収支差額比率（経常収支差額／経常収入）も「正常状態」の値となっています。

事業活動収支計算書

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異	科 目		予 算	決 算	差 異		
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	1,428,204,380	1,426,990,710	1,213,670	特別収支	収入の部	資産売却差額	300,000	300,000	0
		手数料	46,973,198	46,371,368	601,830			その他の特別収入	156,215,748	160,499,391	△4,283,643
		寄付金	13,065,000	14,071,678	△1,006,678			特別収入計	156,515,748	160,799,391	△4,283,643
		経常費等補助金	644,761,407	699,448,464	△54,687,057		支出の部	資産処分差額	57,237,160	56,726,176	510,984
		付随事業収入	17,075,000	17,281,462	△206,462			その他の特別支出	0	0	0
		雑収入	66,151,890	63,882,930	2,268,960			特別支出計	57,237,160	56,726,176	510,984
		教育活動収入計	2,216,230,875	2,268,046,612	△51,815,737			特別収支差額	99,278,588	104,073,215	△4,794,627
	支出の部	人件費	1,311,929,775	1,300,577,932	11,351,843	〔予備費〕	17,115,887		17,115,887		
		教育研究経費	729,291,514	719,656,214	9,635,300	基本金組入前当年度収支差額	102,567,764	204,058,209	△101,490,445		
		管理経費	169,052,057	161,962,275	7,089,782	基本金組入額合計	△312,272,155	△302,118,492	△10,153,663		
徴収不能額等		4,432,000	4,432,000	0	当年度収支差額	△209,704,391	△98,060,283	△111,644,108			
教育活動支出計		2,214,705,346	2,186,628,421	28,076,925	前年度繰越収支差額	951,921,024	951,921,024	0			
教育活動収支差額	1,525,529	81,418,191	△79,892,662	基本金取崩額	0	0	0				
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	21,948,119	21,635,388	312,731	翌年度繰越収支差額	742,216,633	853,860,741	△111,644,108		
		その他の教育活動外収入	0	0	0	事業活動収入計	2,394,694,742	2,450,481,391	△55,786,649		
		教育活動外収入計	21,948,119	21,635,388	312,731	事業活動支出計	2,292,126,978	2,246,423,182	45,703,796		
	支出の部	借入金等利息	3,068,585	3,068,585	0	・教育活動収支は、教育研究活動に係る収入・支出を区分したものです。					
		その他の教育活動外支出	0	0	0	・教育活動外収支は、経常的な収支の内、財務活動に係る収入・支出を区分したものです。					
		教育活動外支出計	3,068,585	3,068,585	0	・特別収支は、資産の売却・処分、施設設備寄付金（含む現物寄付）、施設・設備に対する補助金等の臨時的な収入・支出を区分したものです。					
教育活動外収支差額	18,879,534	18,566,803	312,731								
経常収支差額	20,405,063	99,984,994	△79,579,931								

③貸借対照表の状況

貸借対照表は、会計年度末における資産、負債、基本金及び繰越収支差額を把握し、学校法人の財政状態を表わす書類です。

平成27年度末の総資産は、前年度末に比較して113,467千円の増加となり、本年度末10,727,597千円となりました。

資産の部では、「有形固定資産」が大学・短大の基幹ネットワーク機器・管理サーバの更新や高校の大橋キャンパス隣接地取得、空調設備・照明設備の更新、駐輪場や豊岡グラウンドの整備等で資産の増加があり259,637千円の増加、「特定資産」が退職金引当資産の取崩しにより31,100千円の減少、「その他の固定資産」が有価証券の売却等により106,035千円減少し、「固定資産」全体では、本年度末8,358,720千円となり、対前年度122,502千円の増加となりました。また、「流動資産」は、現金預金等が減少したことから、本年度末2,368,877千円となり、前年度に比べ9,034千円減少しました。

負債の部は、「固定負債」が802,120千円で、日本私立学校振興・共済事業団からの長期借入金等の減少により前年度に比べ96,082千円減少し、「流動負債」は357,378千円で、前年度に比べ5,492千円増加しました。この結果、総負債は、前年度末に比較して90,590千円の減少となり、本年度末1,159,499千円となりました。

また、純資産の部は、基本金が第1号、第3号の基本金で組入れが行われた結果、合計で8,714,237千円となり、前年度に比べ302,118千円増加しました。繰越収支差額は98,060千円減少し、前年度末の繰越収支差額951,921千円と合わせて、本年度末の繰越収支差額は853,860千円となりました。

これらの結果、純資産の合計は9,568,098千円となり、対前年度で204,058千円増加しました。

貸借対照表 (単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	8,358,720,332	8,236,217,978	122,502,354
有形固定資産	6,932,672,529	6,673,035,096	259,637,433
特定資産	201,406,631	232,506,631	△31,100,000
その他の固定資産	1,224,641,172	1,330,676,251	△106,035,079
流動資産	2,368,877,380	2,377,912,209	△9,034,829
資産の部合計	10,727,597,712	10,614,130,187	113,467,525
負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	802,120,735	898,203,573	△96,082,838
流動負債	357,378,427	351,886,273	5,492,154
負債の部合計	1,159,499,162	1,250,089,846	△90,590,684
純 資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	8,714,237,809	8,412,119,317	302,118,492
第1号基本金	8,506,301,178	8,205,182,686	301,118,492
第3号基本金	52,936,631	51,936,631	1,000,000
第4号基本金	155,000,000	155,000,000	0
繰越収支差額	853,860,741	951,921,024	△98,060,283
純資産の部合計	9,568,098,550	9,364,040,341	204,058,209
負債及び純資産の部合計	10,727,597,712	10,614,130,187	113,467,525

学園情報

学園全体

学園表彰

このほど幼稚園教諭の永井智江さんと高校事務職員の高野卓子さんは、平成28年度群馬県私立学校教員等永年勤続者顕彰に決定しました。

高校事務室の高野卓子さんは、7月15日(金)、群馬県私学協会定例会で行われた顕彰の伝達式に出席されました。

この受賞を受け、学園では25年の永きに亘り学園の事務職員として職責を果たした功績は多大であるとして7月16日(土)、高校の教職員全員の前で森本理事長より金一封を贈り表彰式(学園表彰)が行われました。

幼稚園教諭の永井智江さんは、平成29年1月20日(金)群馬県私立幼稚園・認定こども園協会主催「教職員冬季研修大会」の会場にて顕彰の伝達式が行われる予定で、その後学園表彰が予定されています。



永井智江氏



高野卓子氏

大学・短大

CPC事業 下仁田町との地域連携

群馬県地域・まちなか活性化コンペ事業 優秀賞受賞!

平成28年度群馬県地域・まちなか活性化コンペ事業プラン公開コンペ審査会が6月29日(水)に開催され、下仁田町観光協会と本学の協働による『おばあちゃんの知恵×若(わか)ヂカラ』というプランが優秀賞に選定されました。



コンペ2次審査の様子

本学と下仁田町は平成27年1月に包括連携協定を締結しており、これまでも学生による「下仁田町まちあるきマップ」の作成やシンポジウムの開催、イベントへの協力などで交流を深めてきました。

今回応募したプランは、地元のおじいちゃん・おばあちゃんの技術や経験などに基づく“知恵”に若者(本学学生)のアイデアや情報を掛け合わせ、①小物製品(ものづくり)②ツアー企画(観光)③菜の花(食)をプロデュース、下仁田駅から商店街、諏訪神社までを回遊する仕組みを創り出すというものです。

地元の高齢者が小物製品等のものづくり・菜の花栽培・菜の花を食材にした製品づくりをすることにより、やりがいを感じ元気になる。小遣いを得て経済循環が生まれる。お土産とおいしいもの、そして散策コースが整備された街には観光客が訪れ活気が出る。“協働”することにより若者にアイデアを形にする力やものづくりの精神、そして技術が伝わるといった夢のような実現性のあるプランです。

大学・短大

平成28年公認会計士試験に4名(2名は19歳で最年少)合格!!



右から島木さん、明田川さん、松田さん、右川さん、松田さん、右川さん、明田川さん、松田さん、右川さん、松田さん

平成28年公認会計士試験の合格発表が11月11日(金)に行われ、昨年度に引き続き、本学から4名の合格者を出すことができました。

合格したのは島木優一さん(商学部3年)、中健太郎さん(商学部2年)、明田川裕美さん(商学部2年)、松田琉輝(経理研究対象)の4名です。

今回の試験は、10,256名が受験し1,108名が合格、合格率10.8%の難関試験でした。また、20歳未満の合格者は13名で、本学商学部2年生(19歳)の2名は全国最年少での合格となりました。

公認会計士試験は、短答式試験と論文式試験の2つの試験から成ります。短答式試験に合格した人だけが論文式試験を受験することができ、今回この論文式試験に合格したことにより、晴れて公認会計士試験合格者となりました。

放課後学習支援システム

スタディサプリ「高校生講座」について

高校

附属高校では、新たな取り組みとして放課後や休日の学習のサポートのため、リクルートが提供するスタディサプリの利用を推進しています。



◎小中学校の復習から難関国公立大学対策

約3,000本の講義動画でニガテ科目を克服したい人や部活と勉強を両立したい人のための講義講座です。スタディサプリはスマートフォンやパソコンでいつでもどこでも講義動画を受講することができます。自分に合った内容を効率的に学習することができます。

◎自分に合った使い方で成績UP!

「学校の授業をしっかりと理解したい」「定期テストで結果を出したい」「部活と勉強を両立したい」「1ランク上の志望校を狙いたい」など自分に合った使い方をすることができます。

◎実力派講師陣が集結

全国の手予備校で人気を得た実力派講師の講義動画で、「本質を理解する力」を養い合格力を高めます。

高 校

「マナーアップ運動」
について

附属高校では、高校生の自転車・電車・バス・歩行者などの通学時のマナーの向上を目的にマナーアップ運動を行っています。



これまでは、登校時に教員が中心となり生徒に声をかけたり、マナー違反を注意するなどの活動を行ってきましたが、今年度より教員と共に父母の会の皆様にもご協力いただき、駅の周辺や交差点に立ち、マナーアップ運動にご参加いただきました。マナーアップ運動は、6月15日(水)に行われた第1回マナーアップ運動に続いて、9月15日(木)に第2回マナーアップ運動を行いました。

参加した父母の皆さんからは、「普段会えない沢山の子の顔を見る機会に恵まれいい経験になった。」「日頃気づかない子ども達の様子を目にすることができて安心しました。高校生としての意識は十分心得ているように感じました。」「普段登校の様子を見ることもできないので参加してよかった。また参加したい。」等のご意見をいただきました。

幼稚園

「高崎祭り」で優秀賞



優秀賞を目指して製作をしています。

以前は市内の幼稚園や保育園も数多く参加しておりましたが、一番暑い時期の最も暑い時間帯もあり、今年参加した園は激減してしまっていました。その中で年長組を中心に暑さに負けず頑張って担いだ〜アリスワンダーランドより〜“ハートの女王”は見事、優秀賞に輝きました。

9月15日発行の広報高崎の「写真で振り返る 高崎の夏祭り」にも掲載されました。来年も頑張りますのでお祭りにお越しの際には応援をお願い致します。

高崎祭りの「だるまみこし」に参加して8年。職員が夏休みに入ると真っ白なだるまを今年はどんな装飾にするか考え最

インターハイ第4位
(アーチェリー女子団体)

高 校

広島市で行われたインターハイにおいて、附属高校女子アーチェリー部が、連日35度を超す猛暑の中大健闘し、2度目の女子団体4位に入賞しました。



競技方法は、距離70m、制限時間2分以内で3人の選手が2射、合計6射し、合計点の高いチームに2ポイントが与えられ、5ポイント先取したチームが勝利します。10点の直径は12.2cm、ちょうどCDの大きさです。1本のミスも許されない緊張した中、選手達の抜群の集中力とチームワークにより、全国入賞を果たすことができました。

入賞できたのは生徒の努力の結果ですが、日ごろ応援、協力していただいている学園全体の皆様方からの暖かいご支援のおかげであると心から感謝申し上げます。

女子団体優勝という目標達成に向け、今後も頑張りたいと思います。

アーチェリー部顧問 高橋 久雄

学生会・シグマソサエティ

大学・短大

熊本地震 被災者支援活動

4月14日(木)の熊本地震の発生を受け、学生会とボランティアサークル「シグマソサエティ」が、6月4日(土)・5日(日)の両日、高崎駅周辺で募金活動を行いました。

「暑期中、お疲れさま。」「頑張ってください。」「等、多くの方々からの募金と、心温まる励ましの声をいただきました。この結果、両日の募金総額は70,106円とすることができました。

ご協力いただきました多くの皆さまに、心より感謝申し上げます。そして、これからは商大生は、被災されている多くの方のために様々な活動を続けていきます。

※募金の全額は、社団福祉法人群馬県共同募金会を通し、熊本を中心とする被災地にお届けいたしました。



高 校

高校総体 2016 (インターハイ)・全国大会結果

クラブ名	期 日	開催場所	成 績
空 手 道 部	7月30日～ 8月2日	山口県長門市 ながと総合体育館	女子個人形 上田実季 (F2-5) 2回戦敗退 周藤里緒 (F2-2) 2回戦敗退 女子個人組手 土屋玲奈 (F3-11) ベスト16 男子個人組手 中野覚志 (F3-6) 2回戦敗退 女子団体組手 ベスト16 男子団体組手 第5位
アーチェリー部	8月7日～ 8月10日	広島県広島市 コカ・コーラウエスト 広島スタジアム	女子個人 17位 秋場祐里奈 (F3-10) 67位 室井麻佑 (F1-1) 68位 今川琴乃 (F3-11) 119位 鈴木真子 (F2-6) 男子個人 33位 市川遼治 (F3-1) 112位 石井智也 (F3-11) 125位 伊藤亨紀 (F3-6) 179位 城川廉平 (S3-1) 女子団体 4位 男子団体 24位
フェンシング部	7月29日～ 8月2日	山口県岩国市 岩国市総合体育館	女子個人フルーレ 第5位 遠藤里菜 (F3-9) ベスト32 長壁伶奈 (F3-10) 女子個人エペ ベスト16 遠藤里菜 (F3-9) 女子個人サーブル ベスト32 樺澤風紗 (F2-6) 女子学校対抗 ベスト16 遠藤・長壁・樺澤・加藤有紗 (F2-9)・ 設楽ゆひな (F1-7) 男子個人フルーレ ベスト32 江藤和博 (F2-6) 男子個人サーブル ベスト32 倉林洋太 (F3-7)
少林寺拳法	7月29日～ 7月31日	岡山県美作市 宮本武蔵顕彰武蔵 武道館	女子単独演武 ベスト32 清水あかり (F3-4)
バ ト ン 部	7月30日～ 8月1日	広島市平和大通り廿日市 市スポーツセンター	第40回全国高等学校総合文化祭 パレード部門、マーチングバンド・バトントワリング部門 文化連盟賞
放 送 部	7月25日 ～27日	国立オリンピック センター	第63回NHK杯全国高校放送コンテスト テレビドキュメント部門 準々決勝 ラジオドキュメント部門 準々決勝
	8月1日 ～5日	広島国際会議場	第40回全国高等学校総合文化祭 放送部門 ビデオメッセージ部門 文化連盟賞 オーディオピクチャー部門 文化連盟賞
囲 碁 部	8月2日 ～3日	広島県立びんご 運動公園健康 スポーツセンター	第40回全国高等学校総合文化祭 囲碁部門 女子個人戦 嶋田あかり (F3-4) 3勝3敗 男女混合団体戦女子代表 松本真穂 (F3-2) 2勝4敗

大学
・
短大

COC事業 (地域活性化事業)
ドローンを活用した観光PR用
映像作成プロジェクト

上信電鉄と連携し沿線地域の活性化に携わってきた本学は、昨年10月より約半年間をかけて「ドローン (無人航空機) を活用した観光PR用映像作成プロジェクト」に取り組みました。



ドローンによる荒船風穴の空撮画像

これは包括協定提携先の下仁田町から学生の視点から主軸にドローンを活用した観光PR用映像作成の協力を得たいとの要請を受け、CPCの事業で「上信電鉄観光ガイドの制作」に取り組んでいる本学の竹上ゼミ (10名) が「下仁田町平成27年度観光事業活性化事業委託」の一環として実施したものです。

「ドローンを活用した観光PR用映像作成プロジェクト」では、空撮用のドローンと地上撮影用のハンディビデオカメラを駆使し、学生お勧めの観光スポット、下仁田駅周辺の風景、特産品の下仁田ネギ、お気に入りの食事処などを紹介、地上撮影とは違った角度から下仁田町の魅力を提供することができ、このプロジェクトは下仁田町より高い評価をいただきました。

同窓会活動のご案内

学園全体

本学園 (大学・短大・高校・幼稚園) を卒業された卒業生の皆さん、母校に立ち寄ってみませんか。卒業されてから校舎や学科名等が変わっている場合もありますが、きっと学生時代の懐かしい思い出を発見できると思います。是非お立ち寄りください。お待ちしております。

同窓会活動は、下記のとおり行われました。

●高崎商科大学附属高等学校同窓会総会

平成28年6月4日 (土)、高等学校会議室において開催いたしました。(会長 中島順子氏)
〔高崎商科大学附属高等学校同窓会事務局〕〒370-0803
高崎市大橋町237番地1
TEL 027-322-2827



●高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部同窓会総会

平成28年10月16日 (日)、高崎商科大学 (1号館112教室) 開催いたしました。
※同窓会総会は昨年より彩霞祭期間に合わせて行っています。
(会長 丸山正悟氏)



ホームカミングディは10月15日 (土)、エテルナ高崎で行いました。〔高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部同窓会事務局〕
〒370-1214 高崎市根小屋町741番地 TEL 027-347-3399

ホームカミングディの様子

学園の行事等をお知らせします。



平成28年度 学園カレンダー

月	佐藤幼稚園	附属高校	大学・短期大学部
11月	3日 お祭り・バザー 11日 避難訓練(地震) 22日 学園記念日	1日 芸術鑑賞教室 6日 生徒保護者対象入試説明会 21日 防災訓練 22日 学園記念日 23日 吹奏楽部定期演奏会	16日 推薦入試Ⅰ期等入試(大学・短大) 22日 学園記念日
12月	21日 おもちつき 22日 二学期終業式 23日 冬休み	1日～5日 期末考査 12日 第2回授業アンケート 22日 終業式	14日 推薦入試Ⅱ期等入試(大学・短大) 25日 冬季休業開始
1月	10日 三学期始業式 27日 避難訓練(火災)	7日 始業式 8日 推薦・推特入試 9日 学業特別奨学生Ⅰ期入試 14日～15日 大学センター試験 19日 学業特別奨学生Ⅱ期入試 21日～25日 3年学年末試験 28日 一般入試	4日 冬季休業終了 14日～15日 大学入試センター試験 25日 後期授業終了 26日～30日 補講日 1月31日～2月6日 後期試験
2月	6日 お弁当の日 21日 保育参観(バニー) 24日 保育参観(年少) 28日 保育参観(年中)	12日～16日 修学旅行(前班) 13日～17日 修学旅行(後班) 23日 予餞会 25日 商大杯(空手道・バレーボール)	4日 一般入試前期日程等入試(大学・短大) 9日～15日 集中授業期間 16日 大学・短大・大学院 追試手続 17日 成績発表 18日 一般入試中期日程等入試(大学・短大) 22日 再試手続 24日～25日 追再試験日
3月	4日 入園説明会 10日 避難訓練(地震) 18日 第49回卒園式 24日 修了式	1日 第68回卒業式 3日～7日 1・2年学年末考査 24日 終業式	3日 大学・短大・大学院 卒業・修了判定会議 11日 一般入試後期日程等入試(大学・短大) 18日 卒業式

大学・短大・高校

平成29年度 入試日程

大学(経営学科/会計学科)・ 短期大学部(現代ビジネス学科) 入試日程

区分	試験日又は出願期間
推薦入試Ⅰ期(指定校・公募)	11/16(水)
会計士特待生推薦入試 ※大学のみ	
Haul-A特待生推薦 ※大学のみ	
スポーツ推薦(公募)	12/14(水)
推薦入試Ⅱ期(指定校・公募)	
AO入試Ⅰ～Ⅵ期	エントリー期間 8/1(月)～3/7(火)
一般入試前期日程	2/4(土)
センター試験利用入試3科目型 ※大学のみ	出願期間 1/4(水)～1/25(水)
センター試験利用入試前期(2科目型)	
一般入試中期日程	2/18(土)
センター試験利用入試中期(2科目型)	出願期間 1/26(木)～2/15(水)
一般入試後期日程	3/11(土)
センター試験利用入試後期(2科目型)	出願期間 2/16(木)～3/8(水)
特別入試Ⅰ～Ⅴ期 (留学生・社会人・帰国子女)	Ⅰ期 11/16(水) Ⅱ期 12/14(水) Ⅲ期 2/4(土) Ⅳ期 2/18(土) Ⅴ期 3/11(土)
3年次編入 ※大学のみ	推薦 9/9(金) 一般前期 11/16(水) 一般後期 2/4(土)

附属高校 入試日程

科	コース	日程	1/8(日)			1/9(月)		1/19(木)	1/28(土)
			試験区分	推薦	推薦特別奨学生	学業特別奨学生Ⅰ期	学業特別奨学生Ⅱ期	一般	
普通科	特別進学選抜コース	男女	○	○	○	○	○	○	
	特別進学コース	男女	○	○	○	○	○	○	
	進学コース	男女	○	○	○	○	○	○	
	特別進学国際コース	男女	○	○	○	○	○	○	
総合ビジネス科	男女	○	○	○	○	○	○		

〔ベスト3入試〕*Ⅰ期・Ⅱ期の一括申込者(ダブル受験)はⅡ期の受験料免除
*Ⅰ期・Ⅱ期の受験結果の合格種別でどちらか良い方で手続可能

○印:受験可能を表します。但し、推薦・推薦特別奨学生入試(1/8)と学業特別奨学生Ⅰ期入試(1/9)・Ⅱ期入試(1/19)の試験の両方に出願することはできません。受付時間午前9時～午後4時。

※印:普通科の特別進学選抜コース、特別進学コース、進学コースは、入試の結果によって決定されます。

学園全体

「ストレスチェック制度」について

昨年、平成27年12月から、従業員50名以上の事業所を対象にストレスチェックの実施が義務づけられました。背景としては、職場における過度のストレスによるメンタルヘルスの不調が社会問題化していることによります。

ストレスチェック制度は、定期的に労働者のストレスの状況について検査を行い、本人にその結果を通知して自らのストレスの状況について気づきを促し、個人のメンタルヘルス不調のリスクを低減させるとともに、検査結果を集团的に分析し、職場環境の改善につなげる取組です。

「ストレスチェック制度」の主なポイントは、次のとおりです。

- ◎労働者に対して、医師、保健師等による心理的な負担の程度を把握するための検査
- ◎労働者に対して、医師、保健師等による心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）を実施することが、事業者の義務となりました。
- ◎ストレスチェックの結果は、従業員の同意がなければ事業主に提供することは禁止されています。
- ◎ストレスの高い従業員から申し出があった場合、医師による面接指導を行うことが事業者の義務となりました。
- ◎面接指導の結果、医師の意見を聞き、必要に応じて働き方への配慮をすることが事業者の義務となりました。

幼稚園

満三歳児クラス【バニー組】 のご案内

満三歳児クラス【バニー組】をお考えの方へ

本園では、満三歳児の受け入れをスタートさせて12年目となります。

まだ小さくて入園させるのはちょっと可愛そうに思われる保護者の方も少なくありませんが、子ども達は同年齢のお友達と一緒に歌を歌ったり、お絵描きをしたり…。時にはけんかをしたりおもちゃの取り合いをしたりもありますが、集団での生活を経験することで上手な友達とのかかわり方を学んでおります。

年長組はもちろん、年少組の園児がまるで小さな先生のように満三歳児の面倒を見てあげている姿はとても微笑ましいものです。

満三歳クラス（バニー組）は幼稚園教諭で保育士の資格をもった担任と副担任に加え、ベテラン教諭がしっかりとサポート致します。まずはお気軽にお問い合わせ下さいませ。

幼稚園見学にいらっしゃいませんか？

平成29年度の入園につきましては、見学の予約をして頂き幼稚園の生活の流れなど、実際の佐藤幼稚園をご覧いただきながら説明致します。

- ◆月曜日～金曜日の園行事等と重ならない日
(お電話でお問合せください。)

基本的には10時30分～12時の間 30分程度

※希望者多数の場合は数組と一緒にのご案内させていただきます。入園予定のお子さんはご一緒にお連れ下さい。

- ◆園の概要説明及び施設見学をさせていただきます。

■問い合わせ先 高崎商科大学佐藤幼稚園

〒370-0803 高崎市大橋町18-1 TEL 027-323-9512

大学・短大

公開講座

地域

『鎌倉街道と上野三碑の「金井沢碑」』

定員 15名 受講料 500円 回数 1回
日程・時間 11月19日(土) 10:00～12:00
募集期間 10月1日～11月14日

『金井沢整備活動3年間の成果と今後の見通し』

定員 15名 受講料 500円 回数 1回
日程・時間 12月3日(土) 13:00～14:30
募集期間 11月2日～11月28日

生き生き生活講座

『ねこから学ぶソーシャルビジネス』

定員 50名 受講料 500円 回数 1回
日程・時間 11月12日(土) 10:30～12:00
募集期間 10月1日～11月7日

『まさかのときのセカンドオピニオン』

会費 500円 回数 1回
日程・時間 11月12日(土) 10:30～12:00

『ベトナム留学生とのクリスマス会&生き生き生活講座修了式』

会費 500円 回数 1回
日程・時間 12月10日(土) 10:30～12:00

- 問い合わせ先 高崎商科大学 公開講座係
〒371-1214 群馬県高崎市根小屋町741 TEL 027-347-3399

学園広報誌「商大」No.4

2016年11月10日発行

学校法人 高崎商科大学 法人本部総務課